

## 令和3年第8回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和3年8月18日（水）

開 会 15時00分

閉 会 16時00分

場 所 横田庁舎 2階 第一会議室

出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 高橋美奈教育委員

委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長

岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐

教育長

（避難所開設について）

（コロナ対応について）

参加者3名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 福田委員

報告第9号 小学校再編協議の状況について

※資料により説明

事務局

7月27日、29日に横田地域・仁多地域に分かれて開催した第2回再編協議会で配布した資料、第2回再編協議会で出た質疑をまとめた資料、協議会で配布をしていないが、統合小学校の整備事業、代替校舎運用について町教育委員会の考えをまとめた資料等を配布している。取り扱い注意の資料もあるため配慮をして欲しい。本日は午前中に議員会があり、そこでも同様の説明を行っている。

第2回協議会当日もスクールバス整備の要望が多くの地区から出た。しかし、各地区でスクールバスのイメージが食い違っているため各地区の意見をまとめた資料を作成した。奥出雲交通とは別の運用主体、一般乗客・中学生が混乗しない小学生専用のバス、路線バスと比較して発着時刻の自由がある、自宅の近くで乗降させてもらえるというイメージが主だった。意見の中には緑ナンバーの旅客事業ではなく白ナンバーで運行できるため車両・運転手の確保が容易ではないかという意見があった。町教育委員会の認識では、スクールバスは路線バスと比較して自由度は高いが、それは前提として十分な車両・運転手の確保が必要であり、それらの確保が出来なければ路線バスを変えないと認識している。また、すべての自宅を回るわけではないのでスクールバス乗降用のバス停を新たに整備する必要がある。白ナンバーで運行できるため地域ボランティアが運転手を務める事が出来るとの意見もあつ

たが、地域ボランティアに毎日の登下校を担ってもらうのは簡単ではないと思っている。地域ボランティアに一部分の送迎を担ってもらう可能性はあるが、毎日業務についてもらうのは難しいと認識している。教育委員会としては登下校に必要な最低限の路線確保を目指しており、配布した資料を基に奥出雲交通と検討している。この資料から便数・台数が変化する可能性はあるが、この資料のレベルの物は準備して上乗せが可能な箇所は上乗せしていく予定。また、学校の運営に合わせて路線の終点ではなく拠点施設までの折り返しにする等柔軟な対応も検討をしている。

先の協議会で 10 月に統合小学校の建設候補地の各地の意見のとりまとめ・前倒し統合について説明をした。前倒し統合という言葉は教育委員会が作った。希望があれば統合ではなく編入という形になる。

通学方法、児童クラブに関する質問があった。町は通学サポート期間を再編年度の 1 学期間と想定している。これは統合再編後ほとんどの児童がバス通学になった美保関町が通学サポートを行っていなかった事例を踏まえて想定した。この想定に対して高野町では通学サポートを行っている事例があるため他県の事例を含めて検討して欲しいと意見があった。これは調べてから情報提供を行う予定。また、保護者からマイカー通学を認めて欲しいと意見があった。マイカー通学を認める場合、どこまでの送迎を認めるのか、補助をどうするのか等を事務局で検討をしてたたき台を示す予定と回答した。

児童クラブについては、町としては住所地のある児童クラブに入所するルールを原則とした運用を想定している。三成・横田に児童が集中するため拡充したらどうかと意見があったが、施設の拡充は考えていない。

再編後の小学校等の施設運用費用の負担はまだ判断が出来ていない。地域づくり推進課と調整をしていく。地域づくり推進課の高尾課長は代表者会議に出席しているため情報交換をしながら進めていく。

議員会から同意した地区の数のよって校舎の規模を変えるのはどうかという意見があった。教育委員会としてはすべての校区の同意を前提に進めさせて欲しい、すべての校区が同意した規模に見合った校舎を建てたいと説明している。再編に同意しない校区があった場合、令和 7 年から何年間か時間をおいて再編という事を考えているため、その時点の児童数を加味した設計をある程度考える必要があると思っている。

第 2 回目仁多地域の協議会で新校舎、代替校舎の具体的な資料が欲しいと意見があった。統合小学校を現三成小学校敷地に建設すると想定した場合、同敷地に代替校舎を建てると難しい課題が出てくると想定しており、代替校舎は校庭以外の土地に建設した方がよいと説明をした。以前から提案しているカルプラ駐車場に代替校舎を建築する案だが、カルプラの占有・使用は必要最低限にする予定。音楽室としてスタジオを使用するが、授業数が多くないため一般の人と併用。工事中は三成小学校の図書を保管する施設が必要なため多目的室のみ図書館として占有することを想定している。カルプラ駐車場の代替として町民には不便をかけるが、理解を得ながら三成小学校校舎の工事に影響のない部分を利用する予定。次に代替校舎の建設候補として可能性が高いのは旧高田小だが、もともとの学級規模が小さかったため

	<p>現三成小学校の教室より狭い教室しかない。高田小学校の敷地を選らんだ場合でも使用していなかった部分の改修、不足する教室分の仮設校舎は必要なため費用が掛かると想定している。また、高田小学校の校庭の一部はレッドゾーンにかかっているため危険な場所へ児童を移動させるのは難しいと判断している。9月の補正予算で布勢小学校と同様に設計の予算を計上すると教育で説明をしている。</p> <p>他にも「意向をまとめろと言われても困るため町が主体的に再編統合を進めるべきではないか」「統合小学校のレイアウトの資料を出して欲しい」等意見・要望があった。用地買収の話がまとまっていない段階で資料を出すと問題が発生するのではないかと懸念している。</p> <p>仁多地域の統合小学校の建設事業だが、令和7年に統合小学校を開校するためには令和5年・6年で建設する必要がある、設計自体は令和4年時点で開始する必要がある。建物だけではなく、用地取得、バスの乗降場所整備のために町道の拡幅工事等も絡んでくる。様々なところと連携をしながら再編統合を進めていく。</p>
福田委員	<p>町として保護者と町民の意見を聞いた上で再編統合をするというスタンスを通すしかない。町が率先して再編統合を進めろという意見がある一方で町は町民の意見を無視するののかという意見がある。そのような意見を調整していると再編はできないと思っている。</p> <p>三成小学校の現体育館を残すと新校舎のレイアウトに影響するのではない。個人的に曲がった校舎は駄目だと思っており、そのような校舎を建てて欲しくない。また、阿井地区でも体育館を新築して欲しいと強い意見がある。将来の子供たちのための校舎を建てたいと言いながら体育館を新築しないのはおかしいのではない。</p> <p>通学方法や学童は再編統合が決定してから議論するべき話ではないか。再編統合が決定した後には話すべき内容も同時期に協議しているため各校区での取りまとめに苦労していると思っている。校区別協議会に協議して内容を示していく事が必要だと思いが、どう考えているか。</p>
事務局	<p>町の土地であれば代替校舎、統合小学校共にレイアウトを示すことが出来るが、町の土地以外が含まれる可能性があるため非常に難しい。そのように説明もしている。レイアウトを示す事がベストだと承知はしているが、そのような問題があるためどのように資料を提示するか悩んでいる。護岸沿いの用地が取得できた前提で話すと体育館が現在の場所にあっても80m×20mの直線の校舎が建設でき、規模としては1階が1600㎡の3階建て、5400㎡程度になる。これをどのように提示するか課題がある。</p>
福田委員	<p>難しいと承知している。</p>
教育長	<p>この協議は1月から再編に賛成か反対かというところからスタートしている。そこで保護者や地域のから通学方法やバスの乗降場所等の質問があり、それに順次回</p>

	<p>答しているのが現状。前教育長が各地区を回って説明をした際の情報を持っている人、それ以前の再編の情報を持っている人等、現在協議会に参加している方々も様々な時点の情報を持っており、かなり混乱している。明らかにしておかなければならないのは、町としては仁多中校区、横田中校区に各 1 校ずつの小学校を再編統合するつもりだが、それに対して各地区がどのように判断をするかという事。その中で特に児童クラブ、通学方法等の疑問が出てくると思うが、それは再編統合に参加すると決断した後でないで詳細が決められない。横田地域についてはある程度動ける。</p> <p>しかし、仁多地域は建設予定地を 10 月までに決断して欲しいと言っているが、大変難しい状況になっている。仁多地域に対しては 9 月時点での児童クラブ、バス通学のサポート等出来るだけ誠実に返答をしているが、情報を出せば出すほど混乱を招いている。しかし、逆に情報を出さなければ不誠実だと言われるため困りながら協議を進めている。</p> <p>校區別協議会も各地区で差がある。保護者中心で進める地区、地域の声強い地区、意見を全て聞こうとする地区等があり、町が決定方法を示せという地区もある。しかし、断裂・分断が起きない方法で示してくれと言われても意見の対立は必ずある。教育委員会の立場としては、子供たちのための再編統合なのでこれから先、保護者になる人の意見を尊重して欲しいという言い方で進めるしかない。</p>
福田委員	<p>児童クラブや通学方法等の再編後に発生する問題は、現段階で答えられる部分しか答えられない。再編が決定した後に具体的に協議するしかない。統合再編の話合いは、保護者の思いを大切にそれを主として進めて欲しい。ここはしっかりと主張しないといけないのではないかな。</p>
教育長	<p>仁多・横田各地区の小学校を 1 校に統合する方針を考えて欲しいを改めて強く出していく。何を焦点に話していくかという 1 つの目安になると思う。</p> <p>仁多地域については 10 月の段階で建設を決定してもらわなければならない。第一候補として現三成小学校の敷地を候補に挙げている。それに合わせてカルプラの駐車場に代替校舎を建築する必要があることを改めて説明しないとイケない。地域の人の中には布勢、あるいは亀嵩と一緒に授業を受ければよいとの意見があるが、それは統合と変わらないため無理である。</p>
荒金委員	<p>議論をしていく中で様々な意見が出てきて大変だと思うが、原点に返るとどのような学校になるのかという事が重要ではないか。ハードではなくてソフト。子供たちが生き生きと学べる環境が大切だと思う。教育環境が今現在より良くなると言い切れる状況を作ってから 2 校に統合した方がいいと言って欲しいのではないかな。</p>
教育長	<p>断片的に出していた情報を整理し、このような学校にしたいというイメージを早い段階で提示したい。当初は 20 名程度の学級を作ることによって多様な人間関係という事でスタートしていたが、そこが薄れてきている。複式学級の是非はにおいて少人数学級の課題を改めて提示していく。</p>

高橋委員	<p>代表者会議にて意見のとりまとめ方法を町に示して欲しいという意見があったが、町として保護者の意見を尊重して欲しいと思いがあるのならば、各学校で保護者の意見をまとめてはどうか。地区の意見が強い地域では保護者も意見が言いにくい状況があるかもしれない。そのような地域に対しては保護者の意見をまとめてそれを後ろ盾にするという方法もあるのではないか。</p> <p>現三成校舎に新統合小学校校舎を建てると決めた際に代替校舎の説明がなかった。現三成小学校に敷地に統合小学校を建築する話と代替校舎の話は一緒にした方がいいのではないか。また、用地買収は前提なのか。</p>
事務局	<p>基本的に用地買収の可能性も入れて進めている。職員が該当する土地に家を持っており「現三成小学校の敷地に統合小学校を建築することを前提にしたとき様々なお願いをしないといけない」という話をした。職員からは、そうでしょうねと反応があった。それを踏まえて該当の土地に住む方の同意を得ながら資料を出すことはできなくはないが、今度は議員から勝手にするなという指摘が出かねない。その加減を図りかねている。保護者の中には地元の小学校に通わせたと熱い思いを持っている人もいると聞いている。</p>
高橋委員	<p>保護者の中でそのような意見があるのはいいと思う。しかし、保護者が意見を言いにくい状況があるのならば保護者の意見をまとめた方がいいのではないか。</p> <p>カルプラの駐車場に代替校舎を建築することは上手に伝えた方がいいと思っている。町体は避難施設になっているのか。</p>
事務局	<p>通常の災害時はカルプラが避難施設という形になっている。</p>
教育長	<p>現三成小学校の敷地を統合小学校の建築候補にする上で当然、三成小学校をどこに持っていくかと言うのは問題になる。他に持っていくとしても三成小学校の危険校舎を放置するわけにはいかない。仮に現在と違う場所を候補にしても用地買収は必ず必要になって来る。</p> <p>この後の議員会で現在の考えを示し、9月に町長の議会説明において再編を入れる。予算を貰いながら提供できる新しい情報があれば9月の代表者会で提供する予定。</p> <p>(その他質疑無し)</p>
事務局	<p>その他連絡事項 (幼稚園統合の報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の定例会で三沢幼稚園の保護者から三成幼稚園との統合について要望があったと説明した。当初は地域の方と保護者で話し合う予定だったが、行政も一緒に入ってもらって意見交換をして欲しいと要望があった。そのため、地域、</li> </ul>

教育長	<p>福祉協、保護者全員、自治会長全員、福祉会から理事長、事務局長、三沢と三成の園長・主任がそれぞれ参加することになった。行政からは教育長、課長、課長補佐が意見交換会に出席することにした。</p> <p>(コロナ禍における対応について)</p> <p>現在、横田高校がホッケーで全国大会、横田中学校が埼玉で全国大会に出場している。高校は保護者が応援に行っているが、中学校は選手と学校関係者のみで保護者は行っていない。場所が埼玉のため、学校には感染対策を十分にするようにと話している。部活動関係の簡易規則では、教育委員会は該当校の大会の出場の是非を決定できないため、学校に判断してもらうしかない。</p> <p>小学校の就学旅行が9月9日、10日に予定されている。行先は横田地区が主に出雲・松江方面、仁多地域は主に松江を含んでの県内と聞いている。基本的に町内で感染者が出た場合は安全を確保したうえで実施する予定にしている。ただし、6年生の児童、その家族に感染者が出た倍委は代替活動を考えている。それについては、今日、明日で各校の校長が集まって協議する予定にしている。最悪の場合は町内で修学旅行を行う、または昨年度のように中止する可能性もある。今現在、小中学生に感染者は発生していないが、2学期頭に人権に配慮した授業を行う。今後、町内の感染者数によっては教育委員会から保護者へ人権配慮、町長が町内放送をする必要があると思っている。</p> <p>&lt; 次回定例会は9月15日(水)午後3時より(予定) &gt;</p>
署名委員	<p>会 議 録 署 名</p> <p>福 田 亮 雄</p>
教育長	<p>松 田 武 彦</p>